

みずほCustomer Desk Report 2020/02/28号(As of 2020/02/27)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	110.36
TKY 9:00AM	110.38	1.0886	120.10	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	110.45	1.1006	121.03	1.2904	0.6548
SYD-NY Low	109.55	1.0881	119.95	1.2946	0.6592
NY 5:00 PM	109.57	1.0999	120.63	1.2860	0.6543
				1.2883	0.6570
NY DOW	25,766.64	▲ 1,190.95	日本2年債	-0.210	▲ 1.00bp
NASDAQ	8,566.48	▲ 414.30	日本10年債	-0.110	▲ 2.00bp
S&P	2,978.76	▲ 137.63	米国2年債	1.0704	▲ 9.23bp
日経平均	21,948.23	▲ 477.96	米国5年債	1.0791	▲ 7.66bp
TOPIX	1,568.06	▲ 38.11	米国10年債	1.2723	▲ 6.23bp
シカゴ日経先物	21,230.00	▲ 990.00	独10年債	-0.5445	▲ 3.60bp
ロンドンFT	6,796.40	▲ 246.07	英10年債	0.4695	▲ 3.30bp
DAX	12,367.46	▲ 407.42	豪10年債	0.8590	▲ 6.65bp
ハンセン指数	26,778.62	82.13	USDJPY 1M Vol	7.18	0.43%
上海総合	2,991.33	3.40	USDJPY 3M Vol	6.75	0.43%
NY金	1,642.50	▲ 0.60	USDJPY 6M Vol	6.80	0.44%
WTI	47.09	▲ 1.64	USDJPY 1M 25RR	-1.63	Yen Call Over
CRB指数	163.12	▲ 3.16	EURJPY 3M Vol	7.49	0.37%
ドルインデックス	98.51	▲ 0.49	EURJPY 6M Vol	7.39	0.22%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月27日	19:00	欧 消費者信頼感・確報	2月 -6.6	-
	22:30	米 GDP(年率/前期比)	4Q 2.1%	2.1%
	22:30	米 個人消費	4Q 1.7%	1.7%
	22:30	米 コアPCE(前期比)	4Q 1.2%	1.3%
	22:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	1月 -0.2%	-1.4%
	22:30	米 耐久財受注(除輸送用機器)・速報	1月 0.9%	0.2%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	2月 219k	212k
2月28日	00:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	1月 5.2%	3.0%

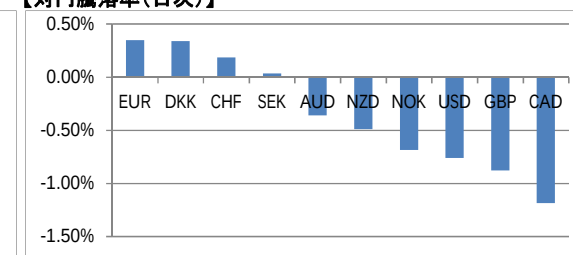
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月28日	22:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	2月 0.3%/1.7%	-0.6%/1.7%
	22:30	米 個人所得/個人収支(前月比)	1月 0.4%/0.3%	0.2%/0.3%
	22:30	米 PCEデフレ(前月比/前年比)	1月 0.2%/1.8%	0.3%/1.6%
2月29日	00:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	2月 100.7	100.9
	10:00	中 製造業/非製造業PMI	2月 45/51	50/54.1

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】リスクオフ相場

新型コロナウイルスに対する懸念で、グローバルな株安・先進国債券高が急速に進んでおり典型的な「リスクオフ相場」が続いている。昨日も、NYダウ4.4%、欧州株も軒並み2.6-3.5%程度の下げ、日経平均先物も0.9%弱の下落となっており、米10年金利は7.6bp低下となった。昨晩には安倍首相が小中高校に臨時休校を要請したが、感染者数拡大と共に日増しに神経質となる政府及び企業の各種制限は、今後長期に亘って経済活動の抑制要因となろう。WHOからの終息宣言等の公式な発表が出されるまで各種制限の解除が見送られる事となれば、SARSの場合は7月に終息宣言が出されたが、今回はそれ以上に長引く可能性も指摘され始めた。急低下を見せている米金利であるが、債券市場では2020年末までに少なくとも2回、2021年前半に掛けては3回の利下げを織込み始めており、仮に3回の利下げとなった場合にはFF金利誘導目標は0.75%~1.00%と、実質的に1%割れまで利下げが実施されることが織り込まれた水準になっている。NYダウは12日の最高値からの下落率が調整局面入りとされる▲10%超に到達しており、また、投資家の不安心理の度合いを示すVIX指数は昨日は39.16まで上昇しており、警戒域とされる20を上回ったまま高止まりしている。今週24日に明けたギャップを埋められずに月末を迎えるのは確実な状況であり、VIX指数に連動して保有資産全体のリスクを調整する動きに、株売り・債券買いのリバランスが一段と進められている可能性が警戒されている。欧州及び米国における新型コロナウイルスの拡大は、今後更に増える事が予想され、特に米国はインフルエンザが大流行していたことで、インフルエンザ患者が新型コロナウイルスに感染していた可能性も高いと言われている。ラガルドECB総裁は金融政策を伴う対応が必要な段階では無いとの慎重な姿勢を示しているが、感染者拡大の報道が出てくるのは時間の問題ではないかとも思われ、リスクオフ相場の時間はもう暫く続くものと見ておきたい。(関)

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ブル	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ブル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ベア	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ベア

ブル	ベア
11	9

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。